【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成28年8月4日(2016.8.4)

【公表番号】特表2016-518665(P2016-518665A)
【公表日】平成28年6月23日(2016.6.23)
【年通号数】公開・登録公報2016-038
【出願番号】特願2016-510644(P2016-510644)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　9/44　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　9/06　６２０Ｋ

【手続補正書】
【提出日】平成28年6月1日(2016.6.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ビジネスアプリケーションの開発、実装または実行の段階における自動ユーザインターフェース変更の方法であって、
前記ビジネスアプリケーションの開発段階で個別のシステム要素を作成し、その構成依存要素を指定し、そのような個別の要素を記憶デバイスに保存する段階であって、前記依存要素はカタログまたはドキュメントを表す、段階と、
前記個別の要素の値をパラメータ化する要素を作成し、そのような要素を記憶デバイスに保存する段階と、
前記個別の要素のブール型値がカタログまたは情報レジスタの属性に記憶されることができるように、前記個別の要素の値との前記パラメータ化する要素の値の一致を記憶するためにカタログまたは情報レジスタのような要素を形成する段階と、
前記パラメータ化する要素内において、前記個別の要素の値とのパラメータ値の一致を記憶するカタログまたは情報レジスタのような要素を指定する段階と、
アプリケーションの実装または実行の段階において、前記個別の要素の値とのパラメータ化する要素の値の一致を設定する段階であって、前記個別の要素の値は「偽」または「真」のブール型の値である、段階と、
アプリケーションの実行の段階で前記パラメータ化する値の最新値を設定する段階と、
前記個別の要素の値を、前記個別のシステム要素の値とのパラメータ値の一致を記憶する前記要素から選択する段階であって、前記個別の要素の値は前記パラメータ化する要素の設定値に対応し、前記個別の要素にすべてのパラメータが指定されない場合、前記個別の要素の多値に対して「ＯＲ」演算が実行される、段階と、
前記ビジネスアプリケーションユーザインターフェースの前記依存要素を自動再構成する段階であって、前記個別の要素の値が「偽」と設定された場合には、該個別の要素に依存する要素はアプリケーションユーザインターフェースにおいて非表示となることからなる、段階と
を含む、自動ユーザインターフェース変更の方法。